



北海道札幌国際情報高等学校  
(公立・普通科・国際文化科・  
理数工学科・グローバルビジネス科)

生成AIとの「共創」による学際的グローバルシチズンの育成  
～AI共創と探究的な学びによる文理・学科横断を目指して～

## 取組

### 取組① 生成AIとデータサイエンスによる「探究の深化」

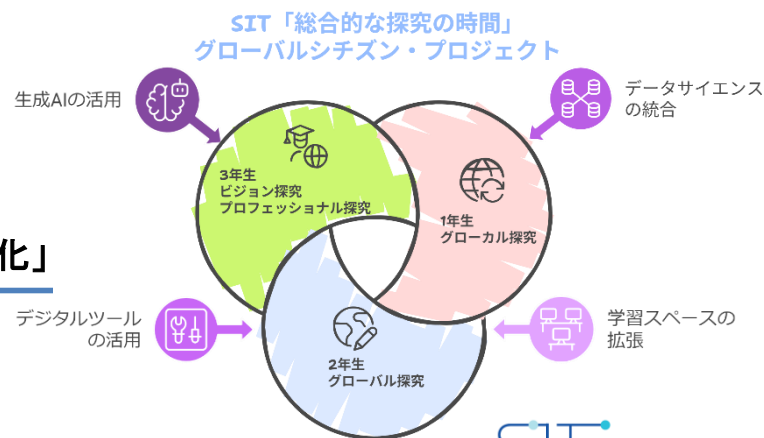


グローバルシチズン・プロジェクト：1年次グローバル探究×共生 2年次：グローバル探究×Well-being 3年次：ビジョン探究×プロフェッショナル探究

- ・探究活動において、生成AIを思考支援ツールとして活用  
→「探究ポット」を壁打ち相手とした思考の深化
- ・データサイエンス講座を通じて、データから傾向を読み解く力を育成
- ・外部専門家と連携し、実社会に即した探究を実施

### 取組② DXラボ(SIT Creative Lab)の整備による「社会実装の具現化」

- ・3Dプリンタ・高性能PC(Adobe Creative)を備えた制作環境を整備
- ・探究活動・授業・部活動における創作・試作を支援  
→社会課題・アイデアをプロトタイピング(形)にする環境を提供
- ・「総合的な探究の時間」を起点に、教科横断的に活用や課外活動での発展的な探究活動を期待



DXラボ(SIT Creative Lab)のロゴ



### 取組③ NEXT INNOVATORSの発足と探究活動の場の創出

生徒の興味関心を高めるデジタル課外活動の促進／外部専門人材の活用・関連期間等との連携

- ・課外活動の枠組みを活用し、生成AIを取り入れた体験的な学びと、自由度の高い探究活動を実施
- ・生徒同士が刺激し合いながら、主体的に学ぶ文化を醸成
- ・探究発表会(SIT EXPO)やSSH主催の校内外プロジェクトへの接続を意識した活動設計
- ・慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 笹埜健斗 氏の協力による探究活動の伴走支援

AIで「答えを作らない」、AIで「自分の眼を広げる」  
もっと便利に、もっとワクワクする学校を、生徒自身の手で!

NEXT INNOVATORS



## 2. 令和8年度DXハイスchool 具体的な取組①

### 取組①



### 生成AIとデータサイエンスによる「探究の深化」

#### ○生成AI利活用ガイダンスの実施

- 生成AI利活用に関する ルール・情報リテラシー の学習
- 効果的な プロンプト設計を体験
- 生成AIの可能性を「思考のパートナー」として体感  
→ 「答えを得る」AI から「考える」AI へ

#### ○データサイエンス講座

- 効果的な アンケート設計・統計データ分析 の基礎
- 本校OB・OG(SIT プロボノメンターズ) による実践的支援  
→ データに基づき課題を捉える視点の育成

#### ○生成AIを活用した「情報活用能力」と「探究力」の育成

- NotebookLMを活用した“My Learning Log”の蓄積  
→ 日々の学びをポートフォリオ化／アイデアの発散・可視化
- 作成した文章・構成案を対象に  
→ 論理のつながり・説明不足を確認(点検・整理ツール)

#### 実施するために活用する経費

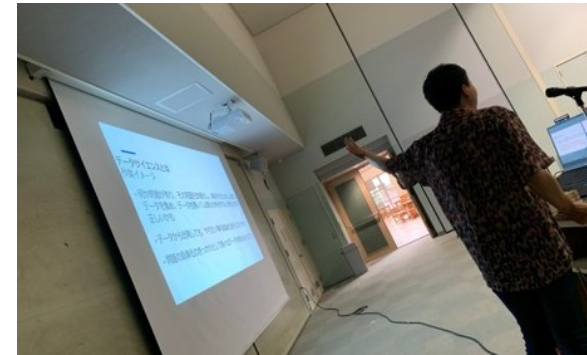
- 講師招聘経費(旅費・謝金)
  - 慶応義塾大学SFC:「生成AI利活用ガイダンス」
  - SITプロボノメンターズ:「データサイエンス講座」
  - 北海道大学産学・地域協働推進機構:「探究活動報告会」での講評・助言
- 校内ネットワーク環境整備費(設備備品費)

- ・課題設定力・問いを立て直す力
- ・生成AIリテラシー・情報活用能力(情報収集・整理・分析・活用)
- ・論理的思考力・表現力・主体的に学び続ける姿勢

育成する  
資質能力



外部専門家による生成AI利活用ガイダンス



データサイエンティストによるデータサイエンス講座



探究活動報告会(ポスターセッション)

## 2. 令和8年度DXハイスクール 具体的な取組②

### 取組②



## SIT Creative Labの整備による「社会実装の具現化」

### ○いつでも創作活動ができる環境の整備

- ICT機器やデジタルツールを活用し、構想から制作までを一貫して行うことができる「SIT Creative Lab」を校内に整備
- 教科授業、総合的な探究の時間、課題研究、部活動等において、学科や学年を越えた制作活動が可能に。

#### ◆ SIT Creative Labに設置された機器・ソフトウェア

- ・3Dプリンター、3Dスキャナ、カラーレーザープリンター
- ・3Dプリンター・カラープリンター用消耗品
- ・高性能PC、Adobe Creative Cloud、Blender

### ○アイデアを「形」にする学びの実践

- 教科授業:
  - ・グローバルビジネス科「CG」での3Dプリンターを活用した立体表現
  - ・理数工学科「課題研究」での試作品(プロトタイプ)制作
- 探究学習: 探究活動の成果を可視化するポスターや資料の制作
- 部活動: 美術部での映像制作や油彩画制作に向けた構想段階のプロトタイプ制作
- 学校行事: オープンスクールにて、3Dプリンターによる制作過程の紹介を通し、「アイデアを形にする学び」を中学生も体験。

### ○SIT Creative Labでの制作を通して育成する資質・能力

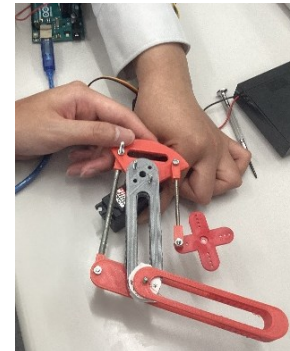
- 構想したアイデアを具体的な形として表現する力
- 課題に応じて情報や技術を選択し、制作に生かす力
- 試行錯誤を重ねながら改善を図り、課題解決を目指す態度



Adobe CCでのプロトタイプ



油彩画 (F30号)



## 2. 令和8年度DXハイスクール 具体的な取組③

### 取組③



## NEXT INNOVATORSの発足と探究活動の場の創出

### ○DX戦略アドバイザー 笹埜教授との連携締結

- 大学・研究機関の知見を取り入れた探究活動の高度化
- 生成AI・DXを軸にした探究の方向性や思考プロセスへの助言

### ○笹埜教授による 探究活動における生成AI活用講座の実施

- AIキャリアコンサルタントチャットボットの活用(笹埜教授提供)
- 個人の興味・関心に基づく「ミニクエスト」へのチャレンジ

### ○ミニ探究報告会の実施

- 少人数・短時間での探究共有による相互フィードバック
- 他者の視点を取り入れ、問いの再構築・視野の拡張を促進
- 生徒同士が刺激し合い、主体的に学ぶ「場」の創出

### ○校内外の探究発表機会への接続

- SSH主催の探究活動交流会や外部探究プログラムへの参加
- 自分の「やってみよう」を起点とした探究・実践の場の創出
- 学び得たことを基に、企画・設計したワークショップとして展開

### 実施するために活用する経費

- 講師経費(謝金)
- 3Dプリンター・3Dスキャナ購入費(設備備品費)
- 3Dプリンター・長尺プリンター消耗品購入費(消耗品費)
- ハイスペックPC(設備備品費)

資  
育  
成  
能  
力

- ・主体的に問いを立て、探究を進める力
- ・生成AI・DXを「思考支援ツール」として活用する力
- ・他者と協働し、学びを深めるコミュニケーション力



DX戦略アドバイザー笹埜教授(右)との連携締結



笹埜教授による探究活動における生成AI活用講座



NEXT INNOVATORSの探究活動発表会への参加